

明石市立大蔵中学校だより 「2020年6月3日(第59号)

書あり 師あり 友ありて

= 明日は別の日にしてほしい =

学校長 平田 高之



部活動については、この臨時休業期間中に、全国・近畿大会に続き、「令和2年度兵庫県中学校総合体育大会」及び「東播地区総合体育大会」の開催中止、全日本・関西・兵庫県吹奏楽コンクールに続き、「兵庫県吹奏楽コンクール第43回東播地区大会」の中止が決定されました。

さらに、昨日、市教育委員会から、6月26日（金）27日（土）に開催予定だった「明石市総合体育大会」も中止を決定したという記者は発表が行われ、そのニュースを聞いた生徒の皆さんには大変ショックを受け、落ち込んでいる3年生が多いのではないかと心配の思いでいます。

東播及び明石市中学校体育連盟とも、3年生にとっては、県総体等が中止となる中で、何とか開催できないか検討を続けて頂いていたのですが、

○学校再開後に十分な練習時間を確保することが困難な状況であること

○けがや熱中症等の発生が危惧されること 等

の課題解消は難しいということに加え、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、県教育委員会から7月9日までの公式戦開催自粛要請もあり、苦渋の決断を下したとの報告を受けました。

しかし、明石市においては、何とか3年生の今までの努力の成果を発揮する場を設定できなか
いかということの中で、市総体の代替大会が開催されることになりました。今後、詳しい内容が
決まりましたらお知らせします。いずれにしてもモチベーションの維持が難しいと思いますが、
まずは、運動不足及び自粛生活でのストレス解消を図り、少しづつ体力・技術力を回復させて
代替大会に臨んでほしいと願っています。

昨年度、2・3年生に紹介しました、本校卒業生の明石商業高等学校3年生古林 愛理さん
に、厳しい状況にある在校生徒の皆さんへということでメッセージを頂きました。

古林さんは、本校陸上競技部時代は中距離選手だったようですが、県総体以上の大会等の出場経験はありませんでした。高校に入ってから才能を開花させ、昨年度、高校2年生でありながら、「全国高校総体女子棒高跳び」において、大会タイ記録で優勝し「高校日本一」になりました。本年度は高校総体2連覇及び大会・高校新記録を目指し練習に励んでおられましたが、みなさんと同じように、高校生もすべての大会が中止となり、目標実現はできなくなりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、総体もなくなり部活動もできない日々が続いていると思います。私も、高校生活最後の総体がなくなり、インターハイ連覇の目標を実現できなくなりました。とても悔しいですが、「日本高校記録更新・日本選手権優勝」という目標がありますから、気持ちが落ちることもなく、前向きにその目標に向かって日々自宅で練習しました。

特に、中学3年生の皆さんは総体が引退試合だった人も多いので、辛く悔しいと思います。ですが、この試合がなくなってしまった期間をプラスに考えることが大事だと思います。新たな目標を決め、その目標に向けて今何をやるべきかを考え、行動することが大事だと思います。人一倍努力をし、その努力を続けた人は必ず結果がついてきます。

この期間は自分のやるべきことを見つけて行動し続けた人は必ずこれから先に繋がります。今目標を見失った人。今を新たなスタートとして高校や将来、自分の理想の姿を想像して一緒に頑張っていきましょう。

とても前向きな素晴らしいメッセージ本当にありがとうございました

多くの有名なアスリートの方々が、高校総体や高校野球の甲子園大会の中止にあたってメッセージを出されていましたが、みんなにとっては身近な、しかも同じ立場にある先輩から直接3年生の皆さんへのメッセージです。心に届けばと願っています。

最後に、高校野球の夏の甲子園大会の中止に対してのコメントから生徒の皆さんに言葉を送りたいと思います。

泣けばいいし、悔しがればいい。しかし今日だけだ。明日は別の日にしてほしい。（奥田英朗さん著稿文より引用）

大蔵中にはすごい先輩がいます

全国高校総体優勝・高校日本チャンピオンです！



2019年8月8日(木) 神戸新聞

※神戸新聞社から著作物使用許諾は得ています